

科目名 <p style="text-align: center;">論理的思考</p>	講 師 <p style="text-align: center;">山崎 達也</p>	単位数 <p style="text-align: center;">1</p>	
時間数 <p style="text-align: center;">30</p>			
科目目的:論理的に思考し問題解決能力、記述方法を身につける 科目目標:1. 論理的思考のための技術、論理形式、論証プロセスについて理解する 2. 思考内容を論理的に記述する			
講義回数	学 習 内 容		
14回	1. イントロダクション:論理的に考える 2. 演習1:接続表現の機能 3. 演習2:議論の骨格をつかむ 4. 演習3:論証のプロセス 5. 演習4:演繹と推測 6. 批判と誤謬	1)論理はいかに示されるか 2)さまざまな接続表現の意味と働き 3)文章を論理的に読む 4)論証図の作り方 5)推理のパターン 6)筆者の意図と主題の見つけ方	
評価	筆記試験		
テキスト			
備考	《わたし》とは何か、《時間》とは何かといった哲学的問いを考えて、論理的思考を訓練していく		

科目名	情報通信技術	講師	塩森 継紀	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的：医療と看護における高度情報化に対応できるようになるために、コンピュータの活用技術及び看護に関する情報管理について学ぶ</p> <p>科目目標：1. 看護の情報の活用・管理と倫理の必要性を学び情報管理の方法が理解できる 2. 看護の現場において必要とされるコンピュータやインターネットの知識を活用できる 3. Word、Excel、Powerpointを活用ができる 4. 基本的な統計知識を学び、簡単な統計データ処理を行う能力を養う</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 高度通信情報社会と口 医療・看護の 情報化	(1)高度情報通信社会への対応のしかた (2)看護におけるコンピュータの活用 (3)看護師におけるICTの活用～ITとICTとIoTの違い (4)病院における看護情報システム (5)情報化社会における個人情報の保護			
2～3回	2. コンピュータの動作原理 3. ネットワークリテラシー	(1)パソコンの基本的な構成 (2)Windows OSが立ち上がるまでの処理の流れ (3)Windows上でプログラムが実行されるまでの処理の流れ (1)インターネットの仕組み (2)ホームページ、電子メール、ブログの仕組み (3)電子掲示板、SNS、ショッピングサイトの仕組み (4)ネットワーク+エチケット=ネチケツト (5)インターネットの安全な歩き方 (6)ウイルスに感染しないために (7)詐欺や犯罪に巻き込まれないために (8)SNS利用上の注意 (9)情報倫理の歴史 (10)インターネット上の倫理問題			
4～12回	4. コンピュータリテラシー	(1)Word基本操作 (2)Excelの基本操作 (3)テーブルとオートフィルタ (4)データ入力の技 (5)ピボットテーブルの使い方 (6)ピボットテーブルでアンケート分析 (7)アンケート分析における相関係数 (8)PowerPointの基本操作			
13～15回	5. 統計解析の基礎	(1)平均、度数分布、分散、標準偏差 (2)母集団の平均と分散の推定 (3)区間推定、信頼区間 (4)カイ2乗分布とカイ2乗検定			
評価	講義中に行う演習問題の成績、出欠状況、受講態度にもとづき総合的に評価を行う				
テキスト	「30時間でマスター Office2019」 実教出版(株) プリント「情報通信技術」を配布する				
備考					

科目名	研究の基礎	講師	小森 うめの	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的 : 看護を研究のプロセスに基づき、看護研究の基礎を学ぶ。</p> <p>科目目標 : 1. 看護研究の概念と必要性が理解できる。 2. 看護研究の種類と特徴が理解できる。 3. 事例研究の進め方に沿って計画書を作成し、文献活用しながら事例研究ができ 4. 看護研究における倫理的配慮について理解し、記述できる。 5. 看護研究のクリティークについて理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 研究と実践活動	1) 事例研究とは 2) 体験的症例集積研究 3) 実践の中から発見する研究課題 4) 個の考え方 5) 根拠(EBN)に基づく看護			
2回	2. 研究の種類と特徴	1) 研究デザインの種類 2) 質的研究と量的研究 3) 実験研究 4) 調査方法の種類 1) 発表原稿作成 2) 発表資料作成 3) 看護研究の評価とふりかえり			
3回	3. 事例研究の重要性	1) 看護実践の種類			
4回	4. 事例研究の進め方	2) 事例研究のおもしろさと留意点 1) 課題をみつけ研究テーマへ絞り込む 2) 資料の収集 3) 資料の扱い方 4) 研究成果の発表			
7回					
8回	5. 事例研究の実際	1) 具体的な事例研究についての内容			
12回					
13回	6. 看護研究のクリティーク	1) クリティークするための必要な力 2) 研究における倫理 3) 看護研究について考慮されるべき権利			
14回	まとめ				
評価	筆記試験 課題レポート 論文・発表内容				
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護研究 (医学書院) 事例を通してやさしく学ぶ 中範囲理論入門 (日総研)				
備考					

科目名	人間工学	講師	塩森 継紀	単位数	1
				時間数	15
<p>科目目的：看護に必要な力学を学び、科学的思考に基づく基礎的知識を学ぶ</p> <p>科目目標：看護を科学的根拠に基づいて理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
8回	<p>1. 人間工学のあらましと数学的準備</p> <p>2. ボディメカニクスと質点に働く力のつり合い</p> <p>3. 力のモーメント(トルク)</p> <p>4. 重心</p> <p>5. 重心と安定性</p> <p>6. 作用・反作用の法則</p> <p>7. 摩擦力</p> <p>8. 看護師国家試験過去問題と実習「看護師がベッド上の患者の上半身を起こす手順の物理的考察」</p>	<p>1)人間工学と物理学</p> <p>2)数学的準備:三角比とベクトル</p> <p>3)練習問題</p> <p>1)ボディメカニクスとは</p> <p>2)ベクトルの成分と2力および3力のつり合い</p> <p>3)小テスト1</p> <p>1)力のつりあいと力のモーメント(トルク)</p> <p>2)力のモーメント(トルク)と看護活動の関係</p> <p>3)小テスト2</p> <p>1)重心とは</p> <p>2)重心と力のモーメント(トルク)</p> <p>3)小テスト3</p> <p>1)重心と安定性</p> <p>2)安定性の条件と看護活動の関係</p> <p>3)小テスト4、小テスト5</p> <p>1)ニュートンの運動の法則</p> <p>2)作用・反作用の法則と看護活動の関係</p> <p>3)小テスト6</p> <p>1)摩擦力とは</p> <p>2)摩擦力と看護活動の関係</p> <p>3)小テスト7</p> <p>1)看護師国家試験過去問題</p> <p>2)「看護師がベッド上の患者の上半身を起こす手順の物理的考察」をテーマに実習を行い、手順のレポート作成と物理的考察の検討</p>			
評価	7回の小テスト、看護師国家試験過去問題、実習レポートの成績と出欠状況、受講態度にもとづき評価を行う。				
テキスト	初回の講義のとき、プリント「人間工学」と小テスト解答用紙を配布する。				
備考	初回の講義のとき、4人を1グループとしたグループ分けを行い、グループリーダーを選出する。小テストはグループ全員で検討して解答を作成し、提出する。				